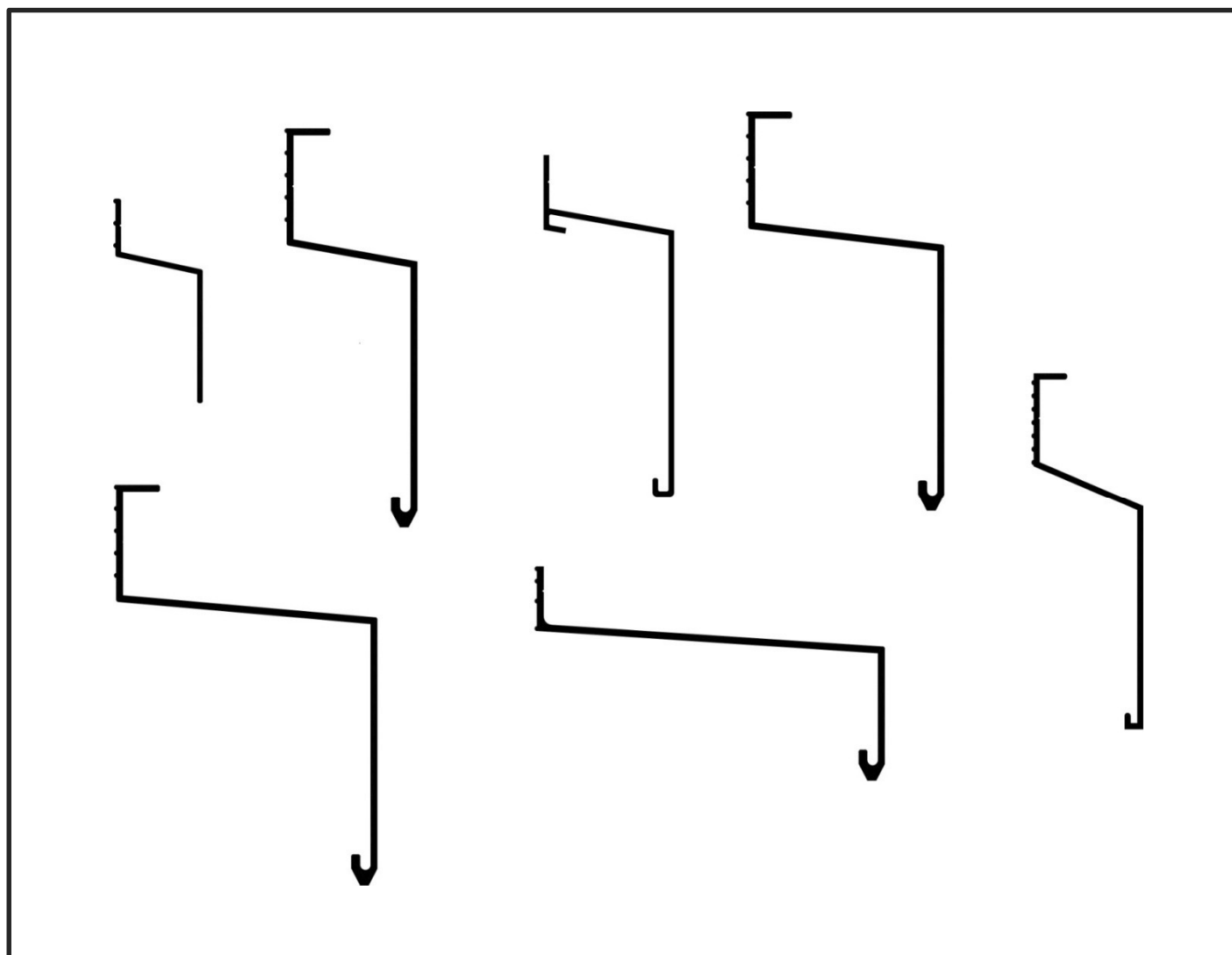


アルミ水切（防水端末保護） 施工手順書

OHシリーズ



目次

水切取付	2 頁
事前打ち合わせの注意点	3 頁
下地がスチールの時の取付ねじの選定について	4 頁

安全上のご注意

- ・ 商品を安全に施工していただくため、施工前に当施工手順書をよくお読みいただき、不具合のないように正しく施工してください。
- ・ 製品をお取り扱いの際、落としたりぶついたりしないでください。キズやへこみなどの製品損傷や、作業者のケガに至る場合があります。
- ・ 施工手順書に記載された以外の施工内容、又は建物の設計・施工に起因する不具合や損害に関して責任は負えません。

水切取付

取付順

固定方法

下穴

固定間隔

コーナー部より始めてください。

・ALCの削孔は穴径が大きくなるため、ハンマードリルを使用しないでください。

・下穴が大きくなるとアンカー耐力が低下します。

・ジョイントは熱膨張などの変形を考慮して隙間を5mm以上あけてください。

下地材	アンカー (付属品)	材質	プラグ径	プラグ長	下穴
RC	N5-35	SUS/鉄	5	35	5×45
ALC	B-F6	鉄	6	30	6×40

・ねじ類はステンレス製をお勧めします。

・樹脂プラグとねじが一体でないものは、樹脂プラグを下地材に打込んだ後、ねじを締め込んでください。

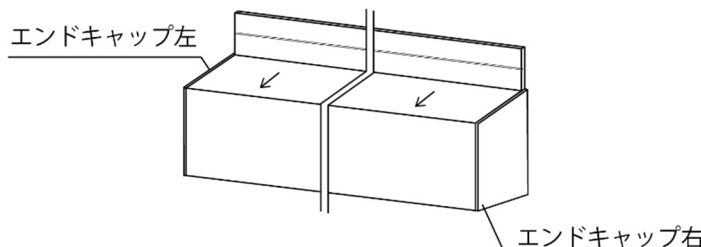
下穴の削孔後は清掃を行い、粉を除去してください。

当社の標準仕様：両端 50 mm @380 mm 6 穴

5038038038038038050


</

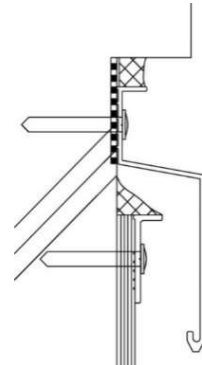
その他

コーナー	コーナー材は、金属専用の接着剤を使用し接着で組み立てます。
エンドキャップ	<ul style="list-style-type: none"> ・製品を取り付ける立ち位置から見た「右」と「左」があります。 ・ビス NB-01(4×16 ドリルねじ) で取り付けすることを推奨します。 

事前打ち合わせの注意点

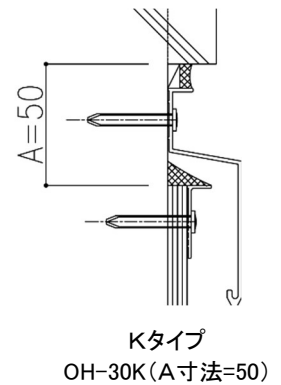
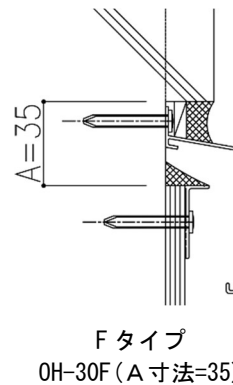
1. 水切取付面の調整

- ・  で示した水切の取付け面は平滑に仕上げてあることを確認してください。
- ・ 平滑でない場合は現場にてモルタル仕上げを依頼してください。



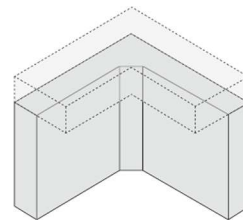
2. 防水端部の位置確認

- ・ 水切の納まりはFタイプとKタイプがある為、A寸法は水切の形状に合わせてください。
- ・ A寸法が大きくならないように注意してください

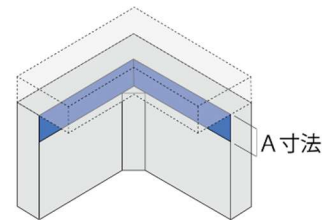


3. 面取り位置の確認 ※アスファルト防水の場合は必須

- ・ アスファルト防水のコーナー部は面取りされています。
コーナー材取付のため、水切取り付け部をA寸法分(2参照)確保してもらう必要があります。
事前打ち合わせで確認してください。



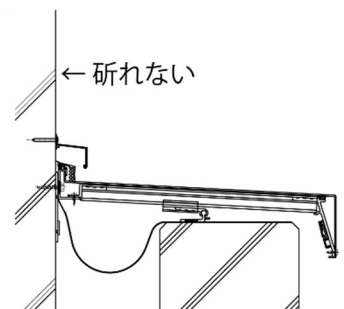
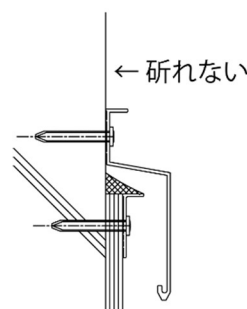
面取りされた躯体



A寸法確保した躯体

4. アゴ（欠込み）がない場合の納まり

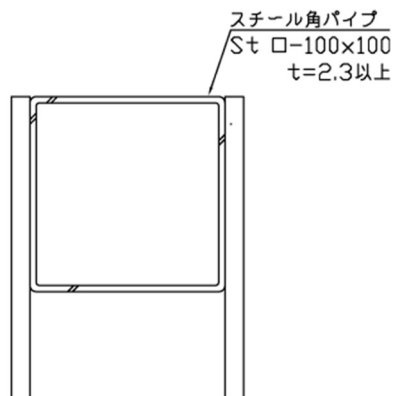
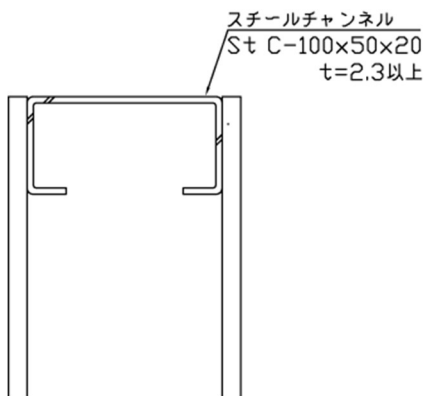
- ・ 改修工事等でどうしても振動音や粉塵が出せず、
斫り込みが出来ない部分に水切を取付る場合は、
設計者や施工会社と協議してください。



下地がスチールの時の取付ねじの選定について



取付ねじ	<ul style="list-style-type: none"> ・ t=6 mmスチールアングルに下端笠木、天端笠木を取り付ける場合 NB-19(ヘックス六角ドリルねじ 6 × 3 5 ユニクロ)を使用する。 ・ 下地材が 5 mm を超える場合、SUS ねじはせん断破裂(頭とび)が起こる可能性がある ので、ユニクロ(鉄)ビスを使用する。
------	---



スチールチャンネルや角パイプ t=2.3 の場合

取付ねじ	<p>笠木取付の時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ B-540H SUS テックスドリルねじ(六角)使用 ・ B-535 SUS テックスドリルねじ(なべ)使用
------	---